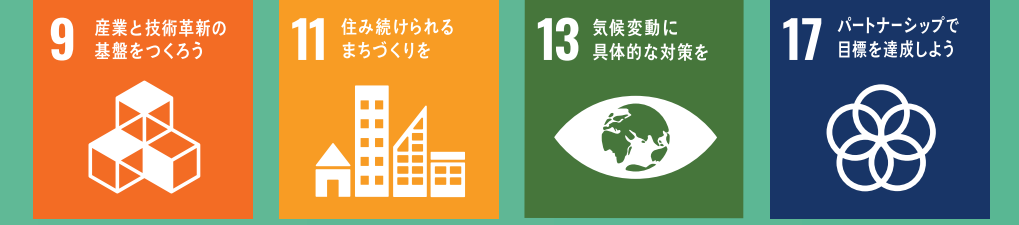


# みんなの「行きたい」「会いたい」「参加したい」 をかなえる超移動社会<sup>※2</sup>



## ターゲット 1

地域モビリティ充実による  
社会参加機会とビジネスチャンスの増加

## ターゲット 2

移動ストレスが減り、移動が楽しくなり、  
社会的コストも最小化する  
地域モビリティシステムの実装

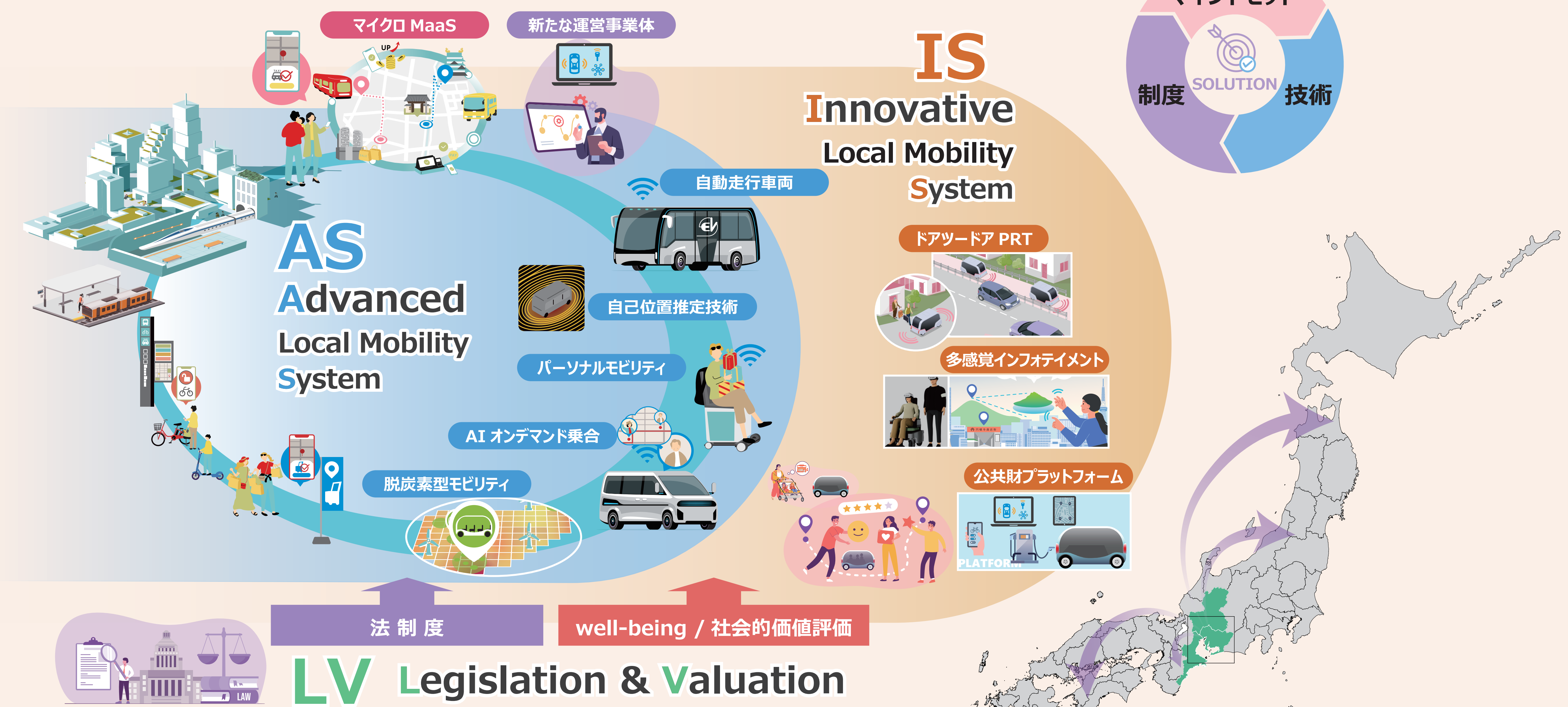
## ターゲット 3

「東海地域モビリティモデル」の確立と  
他地域への発信・展開

※1 マイモビリティ：移動問題を自分事として捉え、自ら関与して作り上げるモビリティ

※2 超移動社会：電気抵抗がゼロになる超電導のように、移動の抵抗（バリアやストレス）が極めて小さくなる社会

## ボトルネックに切込む先進地域モビリティシステム (AS) と 未来を切り拓く革新的地域モビリティシステム (IS), それらを支える法制度と評価方法 (LV)



- 代表機関  
東海国立大学機構名古屋大学
- 幹事機関  
名古屋市、春日井市、一般社団法人中部経済連合会、東海国立大学機構岐阜大学
- 参画機関  
東海旅客鉄道株式会社、名古屋鉄道株式会社、ヤマハ発動機株式会社  
KDDI 株式会社、株式会社日建設計総合研究所、東急株式会社  
岐阜市、愛知県、愛知県立芸術大学、東海大学、産業技術総合研究所
- 連携機関  
知名町、一般社団法人サステナブル経営推進機構、鹿児島大学

Web サイトはこちら

